



1. ESSEC での生活について

授業は、Business Economics, Entrepreneurship, International Finance, Financial Markets, Nobel Ideas in Economics の5つを履修しました。ESSEC の Master in Finance プログラムは非常に人気があり、金融について興味を持っていたので、必ず履修したいと思っていました。また ESSEC の Master Program のうち、GE (Master in Management) と MSF (Master in Finance) は Financial Times によればグローバルランキングでも上位に入っています。

ESSEC では1回の授業は3時間で、1講座につき1学期合計10回分の授業があります。授業1回分の内容も非常に多いです。そして授業中で、常に学生による発言があり、先生もその場で質問に答え、その上で議論した話をさらに発展させ、学生に教えていました。ハイスピードな授業に付いて行くには、予習と復習は不可欠でした。校内に、食堂(主に昼ご飯だけを提供し、メニューは毎週変わる)、図書館兼自習室 (Learning Center)、ジムが完備されています。その上、金融研究室 (Finance Lab) は Bloomberg のデータベースを備えてあります。学生がこれを利用し、世界中の株式市場や外国為替市場のリアルタイムのデータを用いて、金融についての研究とプロフェッショナル取引のシミュレーション(ポートフォリオ構築)を行うことができます。授業以外にも、ESSEC の交換留学担当者は歓迎会、集合会、送別会などを開催してくれました。留学生は学生生活に関して質問があれば、いつでも担当者に相談することができます。また、ESSEC の学生を対象にした留学説明会では、早稲田代表の一人として早稲田を紹介する経験もさせていただきました。留学先として日本はとても人気でした。

2. パリでの生活について

パリの市内に住んでいました。近くにノートルダムとパンテオンがあります。Cergy にある ESSEC までは、およそ1時間かかりますので、朝1限(9時)の授業に合わせ、Saint-Michel 駅から7時半の電車に乗ります。その時間はちょうどパリの日の出の時刻となります。(写真左は Saint Michel 駅の出口で見たパリの日の出、右はギャルリー・ラファイエットで見た日の入り)パリの治安について、左岸の5区、6区、7区、右岸の1区と4区は特に問題ありません。市内の建物は昔から受け継がれているものも少なくありません。そのため、暖炉のままで、エアコンがついてないことが多いです。市内では、英語で生活することができますが、日常生活レベルの簡単なフランス語を事前に身につけることがお勧めです。

学校の休みの日には、友達と一緒にパリの色々な所に行きました。市内のカフェ、レストラン、美術館や博物館などを回り、どこに行っても歴史の香りが漂う建物ばかりでした。特に美味しい食べ物がいっぱいでした。

パリ以外にも、例えばフランスリヴィエラのニースとモナコ、イギリスのロンドンなどにも行きました。

3. まとめ

今回の留学を通じて、ESSEC で学んだ知識と得られた友達以外に、最も大きな収穫として、自分の視野、地平線を広げられました(Broaden my horizons)。例えば、モネの絵と浮世絵との繋がり、フランスの食文化や、多民族国家のあり方が挙げられます。パリには世界諸国からの移民が同じ空間で暮らしています。色々な異なる民族が調和的な生活をしているため、異民族の文化、習慣、食物などをきっかけに、異民族間コミュニケーションや他民族への理解を深めることができました。世の中で人の生き様はこんなに多種多様であることを実感しました。そこで、『最強のふたり (Intouchables)』というフランス映画を思い出しました。映画のストーリーのような人種、民族、階級が全く異なる人たちがお互いに理解、信頼し合う関係に感銘を受けました。また、「他人は自分を映す鏡」のように、逆に今まで単一民族で育てられた自分を振り返って、これからは粹にとらわれず、たくさんの機会や可能性に挑むことができると確信しました。

私は充実した1学期を過ごしました。そこで、交換留学制度を利用してフランス留学を考える皆さんへ：ビジネスに関する知識、異文化への理解、そして ESSEC のネットワークなども必ず将来の人生をもっと面白くしてくれます！ぜひパリ生活を楽しんでみてください。最後に、このような貴重な機会をくださった先生や職員の方々のご支援に心より感謝申し上げます！

①ESSEC Business School について

2019年9月から4ヶ月ほど ESSEC Business School で交換留学へ行ってきました。ESSEC はフランスの商業型グランゼコールの一つで、商業エリートの養成機構となっております。ESSEC はパリ市内から電車で 40 分ほどかかる「Cergy」という町にあります。周辺にはスーパーマーケット、薬局、レストランなどがあるため、日常生活には支障がありません。学校内には図書館、カフェテリア、ジムなどがあり設備が充実しています。自動販売機一杯 80 円で飲める美味しいコーヒーと 350 円で食べられるランチセットは学生達にとってとても魅力的だと感じられるものです。ジムでは毎日無料の授業（ボディワーク、ダンス、ヨガなど）が行われており、私は毎日のように通っていました。

留学中私は Luxury retail management、Global strategy and the business of luxury、Financial accounting の 3 つの授業を受講しました。ESSEC はラグジュアリービジネスに関して強みがある学校です。ラグジュアリーの授業の先生たちは有名ラグジュアリーブランドで Top management を務めた経験がある方で、有名なブランド (LVMH、ROLEX など) の歴史、発展、特徴など詳しく紹介していただき、先生と親交のある有名ブランドの CEO の方がいらっしゃる、授業をされることもありました。授業中はたくさんディスカッション、グループワークが行われ、実際に店舗へ行って調査することもありました。またフランス語の授業も履修可能でした。フランス語クラスを通して友達がたくさんでき、言語の勉強だけではなく、フランス文化などを直接体験出来たとても有意義な時間だと思います。

②日常生活について

私は学校の寮に住んでいました。学校まで歩いて 30 分ほどかかる場所にあります。寮の一階には集会室とジムがあり、ピアノなどのアミューズメント施設もありました。週末になると、友達とよくパリ市内やフランス国外のヨーロッパの国々へも遊びに行っていました。また、シャンゼリゼ通りの夜景、南フランスの海、スペインのフラメンコ、ベルギーのチョコレートなど、これらはきっと私の人生において一生忘れられない貴重な思い出になると思います。

③今後留学予定の方へ

ESSEC では各国から来た大変優秀な学生がたくさんいます。これら優秀な方と交流し、友達になることは大変嬉しかったです。またトップレベルの先生から指導を受けられ、よい教育資源を享受できて感謝しております。この場を借りて会計研究科の留学機会の提供に改めて感謝します。留学の時間を楽しんでいた一面もありますが、授業はすべて英語で行われ、授業中 20 ページのビジネスケースをその場で読ませてそのままディスカッションに入ることもありましたので、出発するまで英語の勉強を続けることをお勧めします。また、Cergy ではキャンパスを出ると英語で対応していただける方は殆どいませんでした。留学する前に、ある程度フランス語を勉強したほうがより楽しめると思います。私はこの滞在期間でフランス最大規模のストライキを体験しました。学校に通う電車が殆どなくなり、パリ行の電車も少なく、とても不便でした。パリではホームレス、スリなどが多いため、出かけるときに十分に気を付けないといけませんでした。交通の不便、街の危険などから改めて日本社会の良さを思い出しました。短い間でしたが、ヨーロッパ文化の刺激を受け、この経験はきっと私の人生の宝になると思います。

